

中国的民主主義には

限界が

「顔見世」訪米をまずは無難に終え、国内での権力基盤強化を目的とした「大衆路線思想教育運動」を開始した習近平政権の今後の動向に内外の関心が集まっている。

第2に、いわゆる民主活動家の影響力は、残念ながら微々たるものだという点だ。劉曉波氏のノーベル平和賞受賞は中国の民主化の歴史に確かに新たな1ページを加えた。

その一つに民主化問題があるが、わが国メディアの主流論調は、「習近平は保守的で、政治の民主化を許さない」というものだ。この認識は基本的に正しい。もっとも、我々がイメージする「民主化」に対する中国の消極的あるいは否定的な姿勢は、今に始まったことではない。

第1に、「民主」や「民主化」に対する彼我の認識の相違である。「中国は民主国家か」との問いに対する日本人の答えは概ねノーであろう。その根拠は一党独裁（あるいは、野党と呼ぶに値する政治団体の不在）、三権分立の否定、限定的かつ恣意的な選挙制度などが考えられる。一方、中国人（とりわけ、党や政府の官僚）の答えの多くはイエスであろう。曰く、「中国は

文言も確認できる党第18回全国代表大会報告（2012年11月8日）では、

彼らの言うところの民主的政治制度を体現する二つの柱として、「人民代表大会制度」と「社会主義協商民主制度」があげられている。

合、確認しておくべき事項が2つある。

第1に、「民主」や「民主化」に対する彼我の認識の相違である。「中国は民主国家か」との問いに対する日本人の答えは概ねノーであろう。その根拠は一党独裁（あるいは、野党と呼ぶに値する政治団体の不在）、三権分立の否定、限定的かつ恣意的な選挙制度などが考えられる。一方、中国人（とりわけ、党や政府の官僚）の答えの多くはイエスであろう。曰く、「中国は

共産党員で占めること、大会常務委員会や事務機関に各種党組織を張り巡らせることなど、決して民主的とは言えない共産党の排他的指導によってもたらされたものである。これこそ、「中国の特色ある社会主義」民主の真骨頂だと言えよう。

社会主義協商民主制度の主要な実践の場は政治協商会議である。共産党は近年、改革開放によって生まれた新興勢力（最も典型的なのは私営企業主）を同会議に参加させている（「3つの代表」の党外版）。

野党と呼ぶに値する政治団体の不在）、三権分立の否定、限定的かつ恣意的な選挙制度などが考えられる。一方、中国人（とりわけ、党や政府の官僚）の答えの多くはイエスであろう。曰く、「中国は

主活動家とその活動は、事実上の海外追放や厳しい監視などで、極めて「効果的に」抑え込まれている。それでは、共産党統治下における民主の実態、彼らが標榜する民主的政治制度とは一体どのようなものなのだろうか。

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

「西側の政治モデルは決して真似しない」との

的要素がうかがえる。

しかし、共産党の目的は、そのような方法で自

らの統治の正統性を高めることにあるため、党は新興勢力の政治参加を促す一方で、それを厳格にコントロールしている。

さらに、政治協商会議はあくまでも党や人民代表大会に対する諮問機関であることから、この改革によっても中国の将来が大きく左右されることは考えにくい。

中国における政治の民主化について語るとき、これらにもまして重要なのは「党内民主」の推進、具体的には党代表大会の年会化と代表の常任化である。これは、例えば、

全国代表大会の場合、大会が5年の任期中に1回しか開催されないという現状を改め、代表大会と

その代表に実質的な権限を付与しようというものである。

「全国代表大会と中央委員会」は党の最高指導機関である」とする党規約が順守されていない現状を改める試みだ。

しかし、この試みは、現在の最高指導機関である中央政治局常務委員会との役割分担や常務委員会自体の存在意義、ひいては、最高指導者（総書記）の果たすべき役割と

いった極めて敏感なテーマにリンクする。したがって、このような改革はかけ声倒れに終わるか、中途半端にお茶を濁して終了する可能性が高い。

政治の民主化は、確かに「中国のかかえる問題」群の一つではある。昨夏以来、国家間関係と対中

感情が悪化している現状に鑑みると、わが国でこの種の期待感が膨らむのは理解できなくもない。

しかし、中国の権力中枢にとつて、この問題のプライオリティーは極めて低いのが現実だ。我々に求められるのは、あくまでも中国の実態に基づいた客観的考察であり、

判断である。中国の民主化という問題は、時代にマッチした一党支配を追求する共産党自身の政策と実践の延長線上において展望すべきものだ。そして、その

行方に大きな影響を与えるのは党指導部、政府官僚、大型有力企業経営陣、解放軍など既得権益層の動向に他ならない。国際

社会とのさらなる交流と融合のなかで、彼ら自身が「和平演変」（この中国

語は、本来、西欧的価値観の浸透による体制崩壊や転覆を意味するため、否定的に用いられる）の

必要性を感じ、我々との間でより多くの共通項を持つ民主的社會へとソフトランディングさせていくことが、長期的スパンでの焦点である。

基本的には第三者である我々としては、各界、各レベルにおける地道な交流を通じた側面的支援、例えば、リベラル層の開拓と連携などに関心と行動を傾注すべきであろう。

このような文脈においても、日中政治関係の早期改善が待たれる。